山鹿市民医療センター開放型病院広報紙　3月号

つばさ

Yamaga Medical Center

発行所　山鹿市民医療センター　〒861-0593　熊本県山鹿市山鹿511番地　TEL 0968-44-2185(代)　FAX0968-44-2420

接遇について

おもてなしの心の伝え方

接遇インストラクター(当センター看護師)
佐　藤　明　美

接遇という言葉は、おそらく誰もが一度は聞いたことがあると思います。ここで改めてその言葉の意味を考えてみましょう。遇という字は「遇す（もてなす)」と読みます。遇すとは、思いやりの心をもってお世話をすること。つまり接遇とは、思いやりの心をこめて相手に接することです。では、「おもてなしの心」そして「思いやりの心」とは何でしょうか。

「相手を思いやる」それは相手の立場に立って、相手の考えや気持ちに思いを寄せること。相手に興味を持ち、関心を寄せることとも言えます。医療接遇とは、目の前にいる患者さんが何を求め、何をしたいと望んでいるのか推察し、患者さんの思いや不安、痛みや苦しみを想像して、その気持ちに寄り添い応えるために行動することなのです。

病気も接遇で50%癒される

不安一杯の状態で病院に行った時、優しく温かく接してもらうことによって、誰もが安心感、元気を得ます。そのことで自然治癒力も高まるのではないでしょうか。これが接遇の力です。医療施設や福祉施設で接遇を改善する最大の目的はここにあります。

一般企業の接遇と、医療機関での接遇は、根本的な違いがあります。企業で扱うものは商品であり、サービスです。しかし、医療機関が扱う対象は限りある「命」です。なんとか助けたいと治療を施す目の前の命には、家族、親戚、友人といった、たくさんの命の繋がりがあるのです。医療関係者の方々は、十分ご承知のことと思いますが、何にも代え難いものを扱う現場だということを今一度、心にとめて頂きたいと思います。

命を扱う現場では、一般企業とは違った接遇、例えば、丁寧さだけではない親近感、患者さんの生活や処方に関して指導する立場、悩みや不安といった様々な相談を受ける立場が求められます。また年齢も性別も立場も違う様々な方々に対応できるだけの、順応性も身につけなければいけないといえます。医療従事者は、「医療現場での接遇」を通して、これらの自覚を再認識することが必要ではないでしょうか。

基本理念

地域住民の生命(いのち)と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

① 患者さま中心の信頼される医療を行います
② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

接遇について …… P 1
薬剤師からのご発言 …… P 2
地域医療連携だより(38) …… P 2
医療最前線(82) …… P 3
ジカウイルス感染症について …… P 4
公開講演会のご案内 …… P 5
歯科医師会研修会のご案内…… …… P 5
肝炎サロン開催のお知らせ …… P 5
クリティカルパス研修会のご案内 …… P 5
外来担当医表（3月) …… P 6

薬剤師からのご発言

山鹿地区の医薬分業

山鹿地区薬剤師会
会長　江上　祥一　先生

山鹿地区薬剤師会とその会員薬局は山鹿市民医療センターには日頃より大変お世話になっております。山鹿市民医療センター（旧山鹿市立病院）の院外処方箋を地域の薬剤師会として応需するようになりまして、21年程になりました。平成７年、山鹿市立病院の院外処方箋発行がスタートするまでは、当地域では院外処方箋の発行医療機関はほとんど無く、またその当時は地域内の薬局もOTC（一般用医薬品）販売がメインで処方箋応需に手が回らない状況もあり、県内で分業率が最も低い地域でした。

山鹿市立病院の院外処方箋発行にあたり、患者さん達に混乱、迷惑が出来るだけかからないように地域内全ての薬局で処方箋を応需することでスタートしました。そのために地域の薬局で組合を設立して、組合立の城北中央薬局を開局して地域の基幹薬局として機能させ、応需医薬品の備蓄センターとして、地域薬剤師会研修会や情報の発信源として地域の薬局の処方箋応需の手助けをして来ました。

おかげで市民医療センターの門前の城北中央薬局に処方箋が集中すること無く、患者さん達が我が家の近くや馴染みの、かかりつけの薬局に処方箋を持っていかれるケースが多く、他地域に誇れる面分業を実現することが出来ました。門前と地域各薬局との集中率は当初は約50：50でした。平成23年山鹿市民医療センターとしてグランドオープンに合わせて、城北中央薬局も新装オープンしてからこの比率が65：35位に傾いてしまいました。以前に比べると応需薬局も倍以上に増えて患者さん達の薬局の選択肢も増えていますのでなんとか以前の50：50に戻るように各薬局、FAXコーナーで頑張っています。

地域の薬剤師会として山鹿市民医療センターの患者さんだけで無く、地域の医療機関に罹られている患者さん達にも薬や薬に関する情報や、健康をサポートして行く相談等を通していろいろなサービスが出来るように日々研鑽しています。月２回の山鹿と植木での研修会、市民医療センター薬剤師研修会、医師会学術講習会、地域連携や在宅関連の研修会等にも参加を募っています。休日は輪番制をしいて市の広報に当番薬局として公示され対応しています。大半の薬局は転送電話等で夜間休日の対応をしています。

山鹿市民医療センターと共に山鹿地区薬剤師会も地域住民の医療・保健・福祉に貢献出来るよう努めて行きたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

地域医療連携だより（38）

山鹿市立ひだまり図書館『もっと知りたいガンのこと』に参加して

「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」のため、2月2日～21日『もっと知りたいがんのこと』が山鹿市立ひだまり図書館主催、熊本県の協力で開催されました。期間中はがん情報の特設コーナーが設置され、その一環として企画された2月13日のミニ講演会とがん相談を担当させていただきました。

ミニ講演会では、がんについて理解を深めていただき、患者さま一人ひとりの『自分らしい生活と治療選択』の一助となりたいとの思いから、がんの相談窓口であるがん相談支援センターについて話をさせていただきました。

がん相談支援センターは全てのがん診療連携拠点病院に設置されており、がん患者さま及びそのご家族をはじめ地域住民のみなさまに、がん医療に関する情報の提供や、相談をお受けしています。相談者に寄り添い、がんに関する疑問・不安・悩みの解決の糸口を一緒に考えます。また、必要に応じて保健・医療・福祉・介護の各関係機関と連携し、解決するお手伝いをさせていただいています。

一人でも多くの方にがん相談支援センターを知っていただき、住みなれた地域で安心して、そして安全に生活いただけるよう、地域におけるがん相談支援の拠点としてより精力的に取り組んで参る所存ですので、何卒先生方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室　がん相談支援センター
社会福祉士　福島 大志

医療最前線（82）

最近の糖尿病の動きについて

内分泌・代謝内科
児島　協　医師

日進月歩の医療の世界において、糖尿病もこれまでと違った新しい作用機序の薬剤が近年登場してきており、それに伴い治療選択の幅が拡がってきております。

新たな薬剤の一つは、消化管ホルモンであるインクレチンの膵作用と膵外作用による血糖改善を図るDPP-Ⅳ阻害薬やインクレチン受容体作動薬です。通常、インクレチンはDPP-Ⅳとよばれる酵素の作用で速やかに分解されてしまうのですが、DPP-Ⅳの作用を阻害したり、インクレチン受容体に薬物が結合する事で、インクレチンの作用を高め血糖改善効果を発揮します。この薬剤が従来薬と比べて画期的である点は、１つ目はインクレチンによるインスリン分泌作用が、インスリン分泌シグナルをあくまで増幅させるものである為、血糖が高くなくインスリン分泌を過度に必要としない状態では、SU薬のように常にインスリン分泌シグナルをONにして低血糖のリスクを増大させることが、単独投与では殆ど無い点です。2つ目には、注射製剤であるインクレチン受容体作動薬に限定した効果ですが、膵外作用としての胃排泄促進・食欲減少作用による体重減少効果も期待が出来る点です。最近は、更に週1回程度の頻度で製剤も開発されており、今後もこの系統が糖尿病治療において、主要な役割を占めていくと思います。

また、もう1つの新たな薬剤としては、これまでの血糖降下作用機序とは全く異にした尿細管におけるSGLT2を介した尿糖再吸収を阻害するSGLT2阻害薬です。この薬剤の画期的な点は、インスリン分泌のメカニズムに依存せずに血糖を改善させる点にあり、尿糖の排出促進によるカロリーロスによる体重減少効果も図れる点にもあります。

このように、新しい糖尿病治療薬の登場によって、患者個々の病態に、より適した薬物治療を行う事が出来る様になりました。糖尿病診療を行う上で、それぞれの患者にとって最適な薬物療法を行い、糖尿病診療の質の向上も図れるよう、引き続き常にアップデートに努めたいと思います。

また、最近のもう1つ大きな糖尿病の動きとしては、HbA1cの管理目標値に関して2013年に熊本で開催された日本糖尿病学会総会において採択された熊本宣言です。これによって、従来のHbA1c管理目標値から、新たに糖尿病合併症を予防するための目標値として7.0％未満を、血糖正常化を目指す際の目標値として6.0％未満を、治療強化が困難な際の目標値として8.0％未満がそれぞれ定められました。このように、画一的な目標から患者の年齢やADL、併存疾患、利用可能な社会資源、患者自身のセルフケア能力やアドヒアランス等を踏まえた目標設定を行い、それを踏まえた糖尿病管理を行う事が求められてきております。また、高齢化社会に伴い認知機能の問題から、十分な治療が困難な症例も増えてきており、医療者全体で関わらねば解決困難なケースもみられてきております。当科でも、圏域の先生方と連携をしながら糖尿病診療を行って参りたいと思いますので、何卒御指導・御鞭撻の程を宜しくお願い致します。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先　〒861-0593　山鹿市山鹿511番地　山鹿市民医療センター　地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報がご覧になれます。

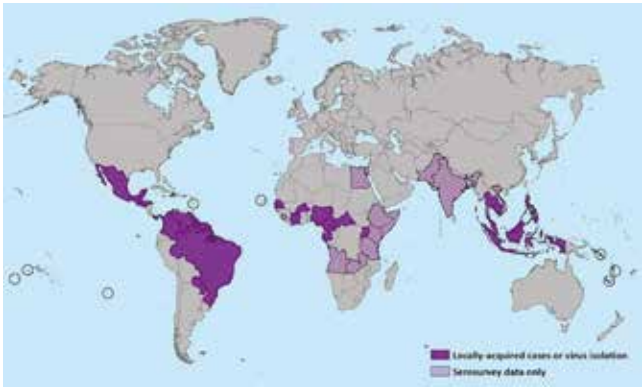
http://yamaga-medical-center.jp

ジカウイルス感染症について

感染管理認定看護師　廣瀬　憲一

疫 学

ジカウイルスは､1947 年にウガンダの Zika forest（ジカ森林）のアカゲザルから初めて分離され、ヒトからは 1968 年にナイジェリアで行われた研究の中で分離さています。WHO によると、2015 年以降 2016 年第 2 週までに、中央および南アメリカ大陸、カリブ海地域では 20 の国や地域（バルバドス、ボリビア、ブラジル、コロンビア、エクアドル、エルサルバドル、フランス領ギアナ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、マルティニーク、メキシコ、パナマ、パラグアイ、プエルトリコ、セント・マーティン島、スリナム、ベネズエラ）から症例が報告されています。



図：ジカウイルス感染症の症例が報告された地域
出典：US CDC. Zika virus
http://www.cdc.gov/zika/

病原体と媒介蚊

ジカウイルスは、フラビウイルス科フラビウイルス属のウイルスで蚊媒介性感染症です。ネッタイシマカ、ヒトスジシマカが媒介蚊として確認されています。日本に生息するヒトスジシマカも媒介が可能と言われています。

感染経路

病原体を媒介する（ジカウイルスを持った）蚊に刺されることで感染します。また、母体から胎児への感染も複数報告されています。他にも輸血や性行為による感染が疑われる事例も報告されていますが、関連はまだ明らかとなっていません。

臨床症状・徴候

2～12 日（多くは 2～7 日）の潜伏期間を経て発熱しますが、38.5℃を超える高熱は比較的稀と言われています。斑状丘疹性発疹、関節痛・関節炎、結膜充血が半数以上の症例に認められ、筋肉痛・頭痛（45%）、後眼窩痛（39%）と報告されています。その他にめまい､下痢、腹痛、嘔吐、便秘、食欲不振などをきたす場合もあることが確認されています。不顕性感染率は約 80% とされていますが、ポリネシア連邦やブラジルの流行では、ギラン・バレー症候群や神経症状を認める症例が報告され、ブラジルでは妊婦がジカウイルスに感染することで胎児が感染し、小頭症発症との関連が示唆されています。ジカ熱そのもので健康な成人が死に至ることは稀で、通常は４～７日間症状が持続し回復しますが、基礎疾患があり免疫力が低下している場合は死に至ることもあります。

デング熱は高熱で熱が下がり始めるころに皮疹が認められるのに対し、ジカ熱は発熱の程度が低く、早期から全身への皮疹が認められることが多いと言われています。

病原診断

診断は血液または尿からのウイルス分離、または PCR 法によるジカウイルス遺伝子（RNA）検出、IgM 抗体検査やペア血清による中和抗体検査など、血清学的診断を行います。

治療・予防

有効なワクチンや治療薬はなく、発熱や頭痛などに対して対症療法となります。

予防に関しては、流行地域で蚊に刺されないように、長袖服・長ズボンの着用、昆虫忌避剤（DEET を含むものが効果が高い）の使用などの防蚊対策を徹底することが重要です。また、妊婦あるいは妊娠の可能性のある女性はジカ熱流行地への渡航を避けることも重要です。

感染症法における取り扱い

ジカウイルス感染症は、2016 年 2 月 5 日に感染症法上の 4 類感染症に指定され、診断後はただちに最寄りの保健所へ届け出る必要があります。

参考文献

1）US CDC. Zika virus.
http://www.cdc.gov/zika/pdfs/fs_zika.pdf

2）厚生労働省 . ジカウイルス感染症について
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html

3）厚生労働省検疫所 FORTH. ジカウイルス感染症の発生状況
http://www.forth.go.jp/topics/2016/02171352.html

ご　案　内

第41回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座1.5単位）

取得カリキュラムコード　番号・コード名
11. 予防活動　62. 歩行障害　77. 骨粗鬆症

下記により第41回公開講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長
幸村　克典
山鹿市病院事業管理者
豊永　政和

記

日　時：平成28年3月11日(金) 19：00～
場　所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演　題：「骨粗鬆症について」
演　者：山鹿市民医療センター
診療部　整形外科医長　平山　雄大　先生
会　費：無料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
事務部総務課　冨田、福山
TEL：0968-44-2185（内線608）

平成27年度 歯科医師会研修会のご案内

下記により平成27年度歯科医師会研修会を開催致します。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長
幸村　克典
山鹿市歯科医師会会長
神山　久志
山鹿市病院事業管理者
豊永　政和

記

日　時：平成28年3月2日(水) 19：00～
場　所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演　題：「もしもアナフィラキシーが起こったら」
座　長：山鹿市歯科医師会会長･神山歯科医院院長
神山　久志　先生
演　者：山鹿市民医療センター
救命救急部救命救急室長　吉岡　明子　先生
会　費：無料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
事務部総務課　冨田、福山
TEL：0968-44-2185（内線608）

平成27年度 肝炎サロンを開催します

主催：熊本県、熊本県肝疾患診療連携拠点病院

＊肝炎サロンは、肝炎患者様やそのご家族など肝炎に関心のある方のための情報交換の場です。
＊肝臓の病気に対する疑問や、治療に関する不安や悩みなど、ゆっくり語り合ってみませんか？
＊参加費は無料、事前のお申し込みも不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

記

日　時：平成28年3月7日(月) 13:30～
場　所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
講　師：熊本大学医学部附属病院
立山　雅邦　先生

※その他「薬剤師のお話」や「語らいの時間」があります。全体で2時間程度の予定です。

お問合わせ先　熊本県　健康危機管理課
TEL：096-333-2783
※平日　午前9時～午後5時

第47回 クリティカルパス研究発表会のご案内

下記により第47回山鹿市民医療センタークリティカルパス研究発表会（公開）を開催いたします。院外からの多数のご参加を歓迎いたします。

記

日　時：平成28年3月23日（水）18：00～
場　所：山鹿市民医療センター　1階医療研修センター
演　題：
「胃切パスの改定について」（2階病棟）
「4階病棟におけるパス稼動率について」（4階病棟）
「食事について」（栄養科）
「手術前パスの改定」（手術室・中央材料室）
「臨床検査科紹介」（臨床検査科）
会　費：無料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
江　藤
TEL：0968-44-2185

外来担当医表　3月

診療科名	月	火	水	木	金
内科	永野　久俊	坂田　典史	吉岡　明子	永野久俊・坂田典史	永野　久俊
呼吸器内科	宮川　比佐子	宮川　比佐子 ※ 後藤　英介	※ 後藤　英介	宮川　比佐子	※ 後藤　英介
循環器内科	大庭　圭介	大庭　圭介	※ 金子　祥三	※ 海北　幸一	大庭　圭介
内分泌・代謝内科	児島　協	—	児島　協	—	児島　協
消化器内科	※ 立山　雅邦	古閑　睦夫	堤　英治	堤　英治	瀧川有記子
整形外科（紹介外来制）	髙木　茂 工藤　智志 平山　雄大	工藤　智志 矢澤　克典 平山　雄大	手　術（担当医）	髙木　茂 矢澤　克典	手　術（担当医）
外科	大熊　利之	手　術（担当医）	池上克徳・宮村俊一	手　術（担当医）	飯田伸一・宮村俊一
乳腺外科	—	※ 末田　愛子	—	—	—
泌尿器科	結城　康平	※ 山﨑　浩藏	結城　康平	※ 村上　洋嗣	結城　康平
小児科	※ 石井　真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで)	—	※ 石井　真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで) ※予防接種(午後)	※ 石井　真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで)	—
感覚器センター 耳鼻咽喉科	—	※ 深見　直美	—	—	※ 土生健二郎
感覚器センター 眼科	榮木　大輔	榮木　大輔	榮木　大輔	榮木　大輔	榮木　大輔
産婦人科	福島　泰斗 井上　弘一	—	福島　泰斗 井上　弘一	福島　泰斗 井上　弘一	福島　泰斗 井上　弘一
	※片渕美和子(午後)　3/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)、29(火)				
総合診療科	—	※ 本郷　弘昭	—	—	—

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。
◎小児科の予防接種は水曜日の午後に完全予約制で行います。
※は、熊本大学病院等からの非常勤医。

特殊・専門外来　3月

名称	担当医等	実施日	診察場所
セカンドオピニオン外来	※ 本郷　弘昭	毎週　火曜（午前）	外科
禁煙外来（予約制）	坂田　和子	毎週　月曜（午後）	内科
睡眠時無呼吸外来	坂田　和子	毎週　火曜・木曜（午後）	内科
乳腺外来	※ 末田　愛子	毎週　火曜	外科
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	3/1㈫、8㈫、10㈭、15㈫、22㈫、24㈭、29㈫	産婦人科
ストーマ外来	担当医	毎月　第３水曜（午後）	外科
PEG外来	担当医	毎週　水曜（午後）	外科
緩和ケア外来（予約制）	坂田　典史	毎週　金曜（14:00～16:00）	内科
糖尿病外来	児島　協	毎週　木曜（9:00～12:00）	内科
小児科予防接種（予約制）	※ 石井　真美	毎週　水曜（受付時間13:30～15:30）	小児科
両親学級（予約制：産婦人科）	助産師	第2･第3･第4日曜日（10:00～12:00）	５階病棟
助産師外来 (乳房マッサージ・保健指導等) ※予約制	助産師：田中妙子	月曜、木曜（8:30～16:00）	５階病棟

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎セカンドオピニオン外来については、地域医療連携室にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185　FAX 0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp